

安全（15）

県内の治安維持について（（1）暴走族の取り締まり（2）飲酒運転の取り締まり（3）未成年者の喫煙飲酒の監視（4）放火等（5）警察官の増員）（一宮市、40代男性）

〔回答〕

（1）暴走族の取り締まり

暴走族は、連夜の爆音暴走に加え、強い犯罪集団性があり、治安的にも青少年の健全育成の面においても社会問題となっていましたので、平成15年4月に「暴走族等の追放の促進に関する条例」を制定し、県民の皆様と一体となり、警察とも連携しながら、暴走族の追放に向けた環境づくりを進めているところであります。【県民生活部社会活動推進課】

警察では、暴走族に対して道路交通法違反等により現行犯逮捕したり、違反状態を撮影した写真により暴走に参加していた者を割り出して検挙しています。また、暴走族は、強盗や恐喝、ひったくりなどの犯罪を行っていることも多く、平成15年4月、暴走族等の追放の促進に関する条例（暴走族追放条例）を施行し、検挙を進めた結果、暴走族のグループは半分以上に減少しました。

しかし、例年、ゴールデンウィーク期間中をはじめ夏季に向け新しいグループが結成されるなど暴走族の活動が活発になることから、県民のみなさまからのご協力をいただき暴走族の実態の把握を進め暴走族の根絶に向けた活動を強力に推進し、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

【警察本部】

（2）飲酒運転の取り締まり

飲酒運転が全国的に大きな問題となっている中で、愛知県では昨年、飲酒運転が関連した交通死亡事故件数は38件発生し、42名の方が亡くなっております。

このため、飲酒運転の撲滅に向けて、各季の交通安全県民運動での取組みを始め、テレビ・ラジオによる呼び掛け、ポスター等による広報啓発を行っている他、飲酒状態を疑似体験できるゴーグルを活用した交通安全教育を促進するなど、飲酒運転の撲滅に努めております。

飲酒運転撲滅に向け、県民の皆様の一層のご協力をお願いします。【県民生活部地域安全課】

飲酒運転は、死亡事故等の重大な交通事故に直結する悪質な違反です。現在、国では法律の改正により飲酒運転に対する制裁のさらなる強化を検討しているところであり、この機会に飲酒運転の根絶に向け強い姿勢を示し、運転者のみならず、飲酒先や同乗者等についても捜査を行っていくなど、今後も強力な取締りに努めてまいります。【警察本部】

（3）未成年者の喫煙飲酒の監視

喫煙・飲酒は、青少年の健全育成を阻害するものであることから、「愛知県青少年保護育成条例」により、青少年に対して喫煙・飲酒のための場所を提供することなどを禁止していますが、未成年者の喫煙・飲酒につきましては、大人や地域が進んで注意するなど、県民の皆様の協力が不可欠でありますので、今後とも啓発活動に努めてまいります。【県民生活部社会活動推進課】

未成年者の飲酒喫煙については、酒を飲んだり、タバコを吸ったりする少年の補導活動を行うと

ともに、未成年者に酒・タバコを販売する業者の指導取締りや未成年者の飲酒喫煙防止に向けた広報・啓発活動の推進に努めてまいります。 【警察本部】

(4) 放火に対する犯人検挙

愛知県警察では、平成15年12月に策定しました「愛知県警察治安回復アクションプラン」に基づき、県民の皆さんの身近で発生する街頭犯罪を始めとした治安回復に向けた取組みを強化したところであり、現在も「愛知県警察治安回復アクションプラン」を策定し、治安回復に努めているところでもあります。

特に、強盗、ひったくり等の街頭犯罪の捜査活動の強化、女性や子供が被害者となる犯罪の取締りを強力に推進しております。

また、放火等の地域全体に脅威を及ぼす犯罪につきましては、早急に犯人を検挙し、地域の皆さんの不安感の解消に努めてまいります。 【警察本部】

(5) 警察官の増員について

平成19年度は、前年度に比べ、警察官118人の定数増が認められたことから、増員するための採用試験を実施したのち、平成19年秋を目途に採用していきたいと考えております。

【警察本部】

愛知県は、勤務時間外に災害が発生した場合は、自宅から近い決められた県の機関に登庁すると聞いているが、職員全体を対象とした参集訓練は実施されているのか。 (新城市、50代男性)
〔回答〕

愛知県では、阪神大震災を教訓として、大規模な地震が発生し、交通手段が途絶した場合においても職員が速やかに参集し、初動対応を迅速かつ効果的に行うことができるよう、平成7年度に全職員を対象とした「激甚災害時参集制度」を創設しております。

また、この制度の検証や、職員の危機管理意識の向上、初動体制の確立などを目的として、勤務時間外に突発的な地震が発生したことを想定し、予め登録した機関へ、登録した登庁手段(徒歩、自転車、オートバイ)により参集する訓練を、平成7年度から職員に予告することなく実施しております。

今後もこうした訓練を通じ、職員の災害に対する意識啓発を高め、災害時の初動対応が迅速かつ適切にとれるよう体制を強化していく必要があると考えております。 【防災局災害対策課】

路上駐車が目立つ。緊急自動車の通行妨害、子どもの飛び出し等事故発生後の対応でなく、先手で違反駐車ゼロを周知・徹底すべきである。 (名古屋市、60代男性)
〔回答〕

道路を車庫代わりとするいわゆる「青空駐車」や長期放置車両が一部地域では問題となっており、警察としては、違法駐車の実態把握や長期放置車両については自治体、道路管理者と連携を強化し早期の排除に努め、道路環境の整備、道路の円滑化等の諸対策を行っているところです。

【警察本部】

パキスタンの首都イスラマバードでは、車の速度を抑制するためにハンプ（こぶ）を道路につくことで通学路の安全を確保していた。こうした試みを参考にしてほしい。

（名古屋市、70代女性）

〔回答〕

愛知県内における子ども（15才以下）の交通事故は、平成18年中で負傷者は5,160名、死者は7名となっております。

子どもの交通事故の特徴として、自宅近くや登下校中で起きることが多く、急な飛び出しによるものがもっとも多くなっています。

本県では、子どもの交通事故防止と致しまして、県民総ぐるみで取り組んでいるところです。

子どもの交通事故防止に向けて、各季の交通安全県民運動での取り組みを始め、テレビ・ラジオによる呼び掛け、ポスター等による広報啓発を行っている他、家庭や地域、学校等で交通安全教育を促進するなど、交通事故防止に鋭意努めているところであります。 【県民生活部地域安全課】

高齢者や子どもなど、誰でも安心して利用できる道路交通環境の確保は、重要な課題と考えています。その対策の一つとして、特に事故発生率が高い地区を「あんしん歩行エリア」として指定し（愛知県全体で36地区・内名古屋市内13地区）通過交通の進入を抑え、歩行者中心の道づくりを推進しています。具体的には、「外周道路対策」として交差点改良等により外周幹線道路の通行の円滑化、「経路対策」として歩道の整備やバリアフリー化に加え、歩行者や自転車を優先する「ゾーン対策」として、ご提案いただいたハンプやクランクの整備と速度規制などの対策を組み合わせ実施しています。

ハンプにつきましては、あんしん歩行エリアに限らず、自動車の速度抑制対策として、名古屋市内のコミュニティ道路などで設置されていますが、自動車通過時に生じる騒音と振動、通過時に二輪車ではハンドルをとられる恐れがあること等の問題もあり、普及には地域住民の皆様のご理解と協力が不可欠となっております。

今後も、交通事故の削減に向けて、様々な対策を推進してまいりますので、引き続きご指導、ご協力をいただきますようお願いいたします。 【建設部道路維持課】

歩行者に対する啓発、特に高齢者に対する対応は各自治体を通じ強力に行ってはどうか。

（名古屋市、80代男性）

〔回答〕

交通安全の推進に関しまして、貴重なご意見をお寄せ頂きありがとうございます。

県内の昨年の高齢者の交通事故死者数は142人で一昨年より9人増加しており、全体の約42%を占めています。そのうち歩行中や自転車乗車中の事故死者数が約8割を占めています。

高齢者の交通事故の多くは、高齢者自身の意識と実際の運動能力や認識能力との違い、現在の交通事情への理解が不足していることなどにより起こっています。

また、交通事故を未然に防ぐには、高齢者の交通行動の特徴を理解し、互いに気遣うことが大切です。

そこで本県では、今年度は高齢者世帯を重点に、直接訪問し、交通安全の呼びかけを行うとともに、高齢者が集まる場所に出向き、交通安全指導を行う取組みを積極的に展開してまいります。

本県では、年初から交通事故死者数が3年連続して全国ワースト1位となることを阻止するため、警察を始め、市町村、企業、NPO、交通関係諸団体の皆様方とともに各種交通安全対策に取り組んでおります。今後とも、引き続きご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

【県民生活部地域安全課】

昨年の交通事故死者は、ご案内のとおり、2年連続して全国ワースト1位となりました。このため、愛知県警察は、交通死亡事故抑止に関する緊急予算を獲得するとともに、県を始め自治体、関係機関・団体、道路管理者との連携による県民総参加の交通死亡事故抑止対策を推進し、3年連続交通事故死全国ワースト1位阻止を目指しています。

ご指摘のとおり、高齢者を始めとする歩行者のルール無視に関わる事故が後を絶ちません。このため、自治体等と連携しての歩行者対策につきましては、平成19年4月20日に警察本部と名古屋市役所交通安全主管課長等による「交通安全対策連絡会議」を開催した他、同月24日には県内各警察署の交通課長と県、名古屋市及び市町村担当課長等による「緊急合同会議」を開催し、高齢者等の歩行者を対象とした広報啓発活動をより一層強力に展開していくこととしました。

また、警察では、高齢者が集まりやすいコンビニや理容店の店主、寺院の住職の協力による交通安全講話や、高齢者の身体機能の低下を認識させて交通事故防止を図る高齢者交通安全教室を充実させるなど新規対策を推進しています。

加えて、県民の交通安全意識の高揚のため、今年4月からNHK放送局のご協力による「交通安全キャンペーン」が展開されておりますが、5月以降、警察も緊急予算を使用し、民放5局による交通事故防止番組や15秒のスポットCM放映、更に、ラジオ5局による統一キャンペーン放送を実施して歩行者の交通ルールの遵守などを訴えています。今後とも、あらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動をより一層強力に展開し、広く県民の皆様には交通事故防止に対する危機意識の高揚を図ってまいります。

【警察本部】

根本的に安価な駐車場が不足しているため、路上駐車をしなくてもよいように駐車スペースが至るところにあると助かる。

(江南市、50代男性)

〔回答〕

駐車場問題に対しては、各地域の特徴を十分に考慮し、各市町において駐車場を整備すべき地区の指定や具体的な計画の策定ができます。

現在、県内の駐車場需要が大きな10市において、まちづくりと整合した計画が策定され、いくつかの駐車場が整備されています。

駐車場施策は、どこにどれだけ駐車スペースが必要であるかを考えた上で、それをいかに確保するか、既存駐車場の有効活用と利用促進をいかに図るかが重要であると考えています。

また、パークアンドライド、既存駐車場の利用促進や公共交通機関利用への転換など、自動車に依存しない生活を推進することも必要です。

今後とも、市町村など関係機関と連携し駐車場施策を推進していきます。 【建設部都市計画課】

地震のとき、一番大切なのは人命救助だと思うが、今までの地震で人命救助されるまでにかかなりの時間がかかっている。市町村には必ず組長がいるので、組長が各家の人数を知っていれば早く救助されると思う。 (美和町、60代男性)

〔回答〕

災害時に避難支援が必要な方たちの名簿作りや避難支援の体制作りについては、現在、各市町村で進められていますが、個人情報取り扱いなど難しい問題のあることが指摘されています。

自分だけで避難できる健康な方たちも含めて、災害時における避難や救出は、役場や消防、組長さんだけでなく、地域全体で取り組んでいただく課題であると考えております。地域における住民同士の関わり、協力が、救助を待つ人たちを一人も見逃さないことにつながると考えられますので、これまで以上に、地域への積極的な関わり、地域活動への参加などを啓発していきたいと考えています。 【防災局災害対策課】

違法駐車追放パトロール地区に指定されており、少しの間、家の前の道路に止めておくだけで貼紙をされるが、常時駐車している車に貼るようにしていただきたい。 (名古屋市、40代女性)

〔回答〕

警察では、悪質な常時違法駐車を取り締まりを重点に行っております。しかし、警察だけでは全ての違法駐車を確認することはできません。常時違法駐車のご通報をいただければ、速やかに警察官が現場に出向して違反を確認し、取り締まりを行います。

なお、短時間駐車であっても交通事故の要因や他の交通の妨害ともなります。違法駐車をなくし、安全で快適な交通環境の実現にご協力をお願いします。 【警察本部】

自動車の基幹バス路線停留所への進入により、バスが停車場に着いても乗降できず、団子運転の原因となっている。交番の前で警察官が立っているが見てみぬふりで何のための立哨なのか。

(名古屋市、60代男性)

〔回答〕

名古屋市内では、朝の通勤通学時間帯に市バスなどの公共交通の円滑な運行を確保するため、一般車両のバスレーンへの進入が規制されています。

この基幹バスが走行するバスレーンのある出来町通沿いにはいくつかの交番がありますが、出来町通沿いだけでなく全ての交番では所前に立って警戒する「立番」という活動を実施しています。

この「立番」という活動は、お年寄り・女性に対するひったくりや路上強盗などの犯罪の抑止、犯罪発生時の発生現場への素早い到着・犯人の検挙、また、交番に警察官がいるという、地域の皆さんに安心感を持ってもらうために実施しているものです。

従って、立番中の警察官が交通違反に対する取り締まりを実施することは、警戒活動を実施できなくなるなど体制面から自ずと限界があります。しかし、交通違反を看過することはゆるされないため、警笛を鳴らすなど違反車両への指導警告、注意喚起を行うようにしてまいります。

また、交通警察でも、悪質な常習違反者に対しては直接指導を行っております。しかし、警察が

直接指導しても相変わらずバスレーンへ進入するドライバーや悪質で迷惑性の高い違反者に対しては、重点的に取り締まりを強化してまいります。 【警察本部】

酒気帯び運転事故がなかなかなくなる。酒やビールを販売している企業に協力をしてもらい、ビンに飲酒運転防止ラベルを貼れば飲酒運転防止につながると思う。 (美和町、60代男性)

〔回答〕

昨年の愛知県の飲酒運転による死亡事故件数は38件で、交通事故死者数と並び、大変残念なことに全国ワースト1位となりました。

こうしたことを受け、本県では広く県民に対し、ポスターやラジオスポット放送等で飲酒運転撲滅を訴えたり、飲酒体験ゴーグルの貸出しを行い、イベントや交通安全教室等で広く県民に活用していただくなど様々な広報啓発活動を実施しているところです。

特に、酒、瓶ビールに飲酒運転防止ラベルを貼付することは、直接お酒を飲む人に対し飲酒運転撲滅を訴えることであり、大変効果的であると思います。清須市のビールメーカーや安城市の酒造メーカー等では、既にNO飲酒運転のチラシを販売店に配布したり、日本酒の瓶に飲酒運転の防止を呼びかけるラベルを貼付して広報・啓発活動を実施している企業もあります。

今後、本県では新規の交通安全パートナーシップ事業を通じ、県内の酒造メーカー等から交通安全活動の一環として、顧客に対して飲酒運転防止を呼びかけていただくよう働きかけてまいりたいと思います。

9月19日に、酒を飲ませた者や飲酒運転の車の同乗者も処罰する内容の改正道路交通法の一部が施行されました。交通事故が多発する秋から年末にかけて、こうした法律の改正を活用した広報活動を展開し、県民の安全意識の更なる高揚を図って飲酒運転の撲滅を目指してまいりたいと思います。

今後とも、引き続きご指導、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

【県民生活部地域安全課】

各企業や会社が労働時間等について就業規則を提出するが、その中に交通安全(飲酒運転)について記入するようにはどうか。 (美和町、60代男性)

〔回答〕

常時10人以上の従業員を使用する使用者は、従業員の労働条件や従業員として守らなければならない職場の規律などを定めた「就業規則」を作成した上、所轄の労働基準監督署への届出や従業員に対する周知等が義務付けられています。(労働基準法第89条・第106条)

現在、従業員の飲酒運転に対する企業の対応等については、必ずしも就業規則中に記載すべき事項とはなっておりませんが、近年、飲酒運転による悲惨な交通事故が繰り返し報道される中で、こうした就業規則の中で、従業員の飲酒運転への対応を明確にし、各企業においても飲酒運転の防止を図ることは、大変重要なことであると考えております。

このため本県といたしましては、使用者が就業規則の作成や見直しを行う際の参考としていただくために作成した「モデル就業規則」の中で、従業員が守らなければならない「服務規律」や「解雇事由」の中に、こうした飲酒運転への対応例を記載し、こうした面からの飲酒運転防止に関する

啓発にも努めています。

【産業労働部労政担当局労働福祉課】

県では企業・事業所に対する交通安全の取組みとして、パートナーシップ事業を行っております。パートナーシップ事業とは、本県の新規事業で、「交通安全」と「安全なまちづくり」について、企業・事業所の従業員の安全意識の向上はもとより、顧客や地域に対し、交通安全に関する取組みを実施していただくものです。

交通安全に関する具体的な活動としては、情報提供や地域における啓発活動など行っていただきます。当然、従業員に対する飲酒運転の厳禁や企業内における交通事故防止・安全意識の向上についても指導教育が行われています。

また、県では各企業に対して、「無事故・無違反ラリー 2007」の参加を働きかけています。「無事故・無違反ラリー 2007」とは、9月23日から年末までの100日間継続して無事故・無違反に挑戦するというもので、既に企業単位のチーム参加が多数あり、(企業の)安全意識の向上を図っていただいております。

その他、各季の交通安全県民運動においては、知事を会長とする交通安全推進協議会の実施機関や団体に加盟する企業・事業所はもちろんのこと、県民総ぐるみで飲酒運転の撲滅など、様々な交通安全活動に取り組んでいます。

今後とも、引き続きご指導、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

【県民生活部地域安全課】

「こちらは愛知県警です。只今パトロール中です。」とのスピーカーは何事起きたかと注意をそらされる。不要不急なパトロールはやめて、縁の下の「力」支えになっていただきたい。

(名古屋市、50代男性)

〔回答〕

日頃は、愛知県警察の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

ご意見をいただきましたのは、愛知県警が行っております「メロディーパトロール」という活動です。

この活動は、警察官がパトカーでパトロールしていることを住民の皆さんにメロディーでお知らせし、安心感を持っていただくことを目的として行っています。

また、犯罪を行おうとしている者に対しては、パトロールしていることを音で知らせることによって犯行を思い止まらせるためにも実施しておりますので、今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

【警察本部】

愛知県には地域限定のコミュニティFMが9局あると思うが、県の情報がないと思う。また、放送局によっては防災協定を契約しているが、県としては地域FMに情報の提供などはしないのか。

(高浜市、20代男性)

〔回答〕

県内のコミュニティFMのうち県が定時の広報番組を持っておりますのは、現在のところ、瀬戸市にある「れでいおさんきう」だけです。この番組は、放送局からの申し出により、無料で放送し

ていただけることから、今年9月から開始しました。

ご提言のとおり、コミュニティFM局は地域の広報メディアとして有効と考えておりますので、今後も、効果的な広報メディアのひとつとして積極的に活用を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。 【知事政策局広報広聴課】

災害時においては、被災した住民の方々に対し、道路、ライフラインの被災状況や復旧情報、給食・給水などの生活関連情報を迅速かつ正確に提供し、住民の方々の不安を少しでも取り除くことが重要であることから、愛知県の地域防災計画においては、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話など多様な手段を活用し、災害広報することとなっており、コミュニティFM放送においてもこの手段の一つとして位置づけております。

コミュニティFM放送は、放送エリアが限定されていることから、市町村単位での地域に密着したきめ細かな情報を提供する有効な手段であると考えており、今後、県としては、コミュニティFM放送受信可能な市町村で、コミュニティFM放送局を活用していない市町村に対して、災害時の広報手段の一つとして活用するように働きかけてまいります。 【防災局防災対策課】

平針だけでなく、県西部にも更新のみの場でもいいので、運転試験免許場を作ってほしい。人が多いせいか職員の態度も悪く感じる。 (名古屋市、20代女性)

〔回答〕

愛知県内の運転免許更新手続きは、運転免許試験場・東三河運転免許センターのほか、29か所の警察署と幹部交番で行っています。

試験場・警察署・東三河センターの更新者構成比で見ますと、表のとおり警察署が48%で更新者の約半数を占めています。

	試験場	警察署	東三センター
免許窓口別構成	39%	48%	12%

「愛知県西部に更新が行える場所が欲しい」との要望につきましては、2つの理由で困難であると思われます。

1つは、全国的に若年人口が減少している中で、愛知県でも0歳から17歳までの年齢別人口は7万4千人台～6万8千人台で横ばい状態であり、これから先、運転免許人口の増加は見られず、試験場での更新者の増加が見込めないこと、2つめは、厳しい愛知県の財政事情や、一か所にまとめることによる功罪を考慮した場合、県西部に新たな運転免許更新施設を建設する必要性が低いと思われるからです。

なお、名古屋市内にお住まいの方は、西警察署と港警察署で更新手続きが出来ます。また、住所地によっては津島警察署や蟹江警察署の方が近い方は、優良運転者なら即日交付で早く更新ができますので、警察署の更新を検討されてもよろしいかと思ひます。

また、「職員の態度」についてのご意見につきましては、県民の方々に親しまれる言葉づかいや、スピーディーな対応に努力してまいります。 【警察本部】

街の中心部では歩行者や車からでも見やすい発光ダイオードを使った信号機が多くなってきて良いと思うが、自分の辺りには見かけないような気がする。見づらいために事故があると大変なので、早めに対応できるならばお願いしたい。 (高浜市、20代男性)

〔回答〕

LED信号機(発光ダイオードを使った信号機)は従来の電球式信号機に比べ視認性が極めて良く、また、信号機の電球交換の保守が必要ないため経済的でもあります。

LED信号機は陽光が直接、信号灯器に当たっても信号の色がはっきり見えることから特に西日対策に大変有効で、交差点での事故防止対策として平成6年から順次LED信号機を導入しており、平成19年10月末現在で県内の約6分の1の信号交差点にLED信号機が整備されています。

今後も交通事故発生状況などの分析を行い、県内全域で計画的な整備を進めてまいります。

なお、高浜市内では「高浜市役所西」「高浜市役所東」「高取公民館南」などの8交差点にLED信号機が整備されています。 【警察本部】